

菊の会だより

Kikumokai

“心を踊る”

菊の会は古典舞踊の
研鑽に励み
明日の新しい舞台芸術の創造に
情熱を燃やしています

[発行]

舞踊集団 菊の会
代表 畑 道代

〒161 東京都新宿区西落合2-21-23
電話 03-5983-6001(代)



舞踊劇「阿国かぶき」に京都の暑さを肌で感じていた実感が嘘の様に思われる今日この頃でございますが、お変わりもなく御健勝にお過ごししの御事と存じます。今年はおトリエ公演に始まり、アトリエ公演に終わる大変充実した年となりました。

この間、皆様のお力添えを賜りまして、南座に於ける大作「阿国かぶき」の公演で、思わぬ大成功をさせて頂き、本当に夢の様で心から感謝申し上げます。

誠に有難うございました。そして今、再び「藍の女」阿波よ踊れーを今年の自主公演として決めさせて頂き、新たな第一歩として稽古に取り組んでおります。十一月三十日から始まります今秋の自主公演に何卒皆様の絶大な御指導、御支援を賜ります様、よろしくお願ひ申し上げます。

新たな第一歩の「藍の女」

舞踊集団 菊の会
代表 畑 道代



舞踊劇「阿国かぶき」山三、嵐徳三郎文

古都の名所めぐりと南座観劇 ツアーに参加して 酒井路子



京都南座の外観

六月よりお稽古を始めました私は、今回の友の会旅行会に、友人四名と初めて参加致しました。新幹線の中から早速お喋りが始まり、皆様方と直ぐ打ちとけ、アツと言う間に京都へ。猛暑を覚悟して降り立った駅頭でしたが、思いのほか涼しく、先ず清水寺へ。清水の舞台を見上げる葎簀張りの茶屋で、谷から吹きあげて来る冷たい風に一息入れた時、遠く忘れていた夏の風物詩を思い出しました。

京都でも老舗の鮎鶴旅館では、川面を渡る風、遠く山々、街の賑わい、そして夕暮れと共にともる提灯の明かりを眺めながらの川床での夕食会は、これぞ京都という素晴らしい初体験でした。そのあとお茶屋の並ぶ鴨川をのぼりをそぞろ歩いて、南座の明かりに迎えられる時には、自分がすっかり阿国の気分になっていました。阿国縁のこの処で拝見する舞台は、まるで菊の会の凝縮された魂が、私達にむかって爆発したような衝撃に

つづ衝撃でした。その感動のかたまりのまま京都随一の都ホテルに帰り着いてから、とうとう明け方四時まで友人達と語り明かしてしまいました。

二日目、元氣いっぱい、橋本関雪記念館を経て八瀬という京都でも高貴な方の住まわれていた地域に、建設途上の菊の会研修棟の見学に参りました。背に碧山、眼下に高野川の清流を擁して、日本建築の粋を集めて建てられるという菊の会のお城は、まだ新地で何も建っていませんでしたが、能楽堂の建つところに、胸躍らせながら、記念の手形を印してきました。金閣寺、竜安寺を廻り、夕焼けを背に飛行機で帰路につきました。

最後の最後まで畑代表のお心遣いのおふれた今回の旅行会により、明日への希望と勇気を頂き、感謝の思いでいっぱいでございます。一段と深まった友情の輪を更に広げて参ります。ありがとうございます。

友の会セミナーの御案内

日頃御支援下さる、友の会々員の方々からの要望として民俗芸能について又、古典芸術について、もっと解りやすくお話が聞ける場をもっと欲しい、もっと菊の会の活動について知っていく機会が欲しいとの意見が寄せられていました。

それを受けて第一回のセミナーを十一月十二日、午後五時より菊の会スタジオにおいて下記の通り開催する運びとなりました。

時・十一月十二日(日) 五時開始
所・菊の会スタジオ
内容・「新野の雪祭り」上映
お話・「菊の会の歩み」畑代表
入場料・一、〇〇〇円
注・①友の会々員にかぎる。
②ハガキのみの受け付けとし、先着順とします。
御来場をお待ちしています。

長唄演奏会「伊四郎会」

九月十六日(土)、銀座ガスホールに於いて長唄演奏会「伊四郎会」(主催、芳村伊四郎・芳村伊四寿)が行われた。

この長唄演奏会には畑代表を始め勝間佐和ほか公演メンバー代表が出演した。曲目は畑代表「勸進帳」、勝間佐和「蜘蛛拍子舞」、原聰、佐竹永光「都風流」、鶴岡泰重、竹田秀晴「鞍馬山」、宮沢りか、渡辺伸子

舞踊劇「阿国かぶき」第十景琉球へ南蛮へ

友の会会員募集

伝統文化を大切に、明日の新しい舞台芸術の創造に情熱を燃やす菊の会の幅広い活動を支援するのが友の会です。

舞踊家の育成、作品創り、そして



諸外国との文化交流を旨とする菊の会を育てる為に皆さんの御支援をお願いいたします。

一般会員、年一〇万円、法人会員、年一〇五万円、詳しくは友の会事務局へ。TEL(03)5983-6001。

諸外国との文化交流を旨とする菊の会を育てる為に皆さんの御支援をお願いいたします。

一般会員、年一〇万円、法人会員、年一〇五万円、詳しくは友の会事務局へ。TEL(03)5983-6001。

公演・行事のお知らせ

アトリエ公演
12月21日(木)・24日(日)、木、金曜日
(各)2時30分、(各)6時30分開演、土、日曜日(各)1時、(各)5時開演予定
演目/狂言舞踊「茂登木」海はるか日本を躍る

入場料/2800円
会場/菊の会スタジオ

創作舞踊展
12月18日(月)6時開演「花折峠」
出演/畑 道代、公演メンバー、
入場料/5000円(全席自由)
会場/俳優座劇場
主催/創作舞踊展

年忘れ爆笑アトリエ公演
12月26日(火)、(各)2時30分、(各)6時30分開演、入場料/2000円
おどり初め
平成8年1月14日(日)午後1時開演予定、会場/菊の会スタジオ
新春アトリエ公演
平成8年1月19日(金)・21日(日)、土、日曜日(各)1時、(各)5時開演、ウィークデー、(各)2時30分、(各)6時30分開演
入場料/2800円
会場/菊の会スタジオ

この夏の素敵な思い出

日本女子体育大学教授
舞踊評論家 福田一平



何と美しく哀しい舞踊だろう。京都南座の華麗な歴史を感じさせる舞台で踊る畑道代さんの阿国を見ながら、胸にこみ上げてくる熱い感動を押しささげなかつた。

芸術家は誰でもギリシヤ人のシテールのような、理想とする心の島をもっている(シテールは美の化身ヴィーナスが誕生したと言われる島)。そして一生に一度はそこへ船出したい夢を見続けている。

畑さんのシテールはきつと南座の舞台だったに違いない。人生の総てをかけた舞踊道の帰点に立って、どんな思いだっただろうか。その心情があの清冽な演技となって、見る人の心をとらえたのだろう。

三隅治雄先生の演出の素晴らしさもあって、畑さんのひたむきな芸魂が珠玉のような舞踊となって昇華していた。今年の夏は社会の話題が暗い、ニュースばかりだっただけに、私にとってはまさに心が洗われるような、美しい思い出の一時を持たせていただいた。

また「菊の会」の方々の演舞もよかつた。そこには、おごらずおそれず祈るような真実を追求して行く若い息吹がみなぎっていた。こんな方達がいる限り、日本舞踊界もまだまだ大丈夫だと嬉しかった。何かの機会に又お会いしたい人ばかりである。

平成の名手、畑道代さんをこれ程に燃え上がらせたのだから、きっと阿国はどんなにか素敵な人だったのだろう。今度京都に行ったとき加茂川の流れに聞いてみようと思う。「菊の会」のご健闘と明日に心から拍手を送ります。



新世紀へ、創立25周年へ、輝く未来を!!

京都南座公演、創作舞踊劇「阿国かぶき」に 新鮮な感動と拍手!!

畑さんの出雲の阿国を観て

読売新聞京都総局 西田 文人



歌舞伎の祖という出雲の阿国の銅像が、その発祥の地でもある鴨川の四条河原を背に建っている。視線の先には歌舞伎の顔見世が行われる南座がある。

阿国は、京都にとって忘れられ

ラブ関係者も、会場いっぱい熱気と熱演ぶりに感動していた。踊りも劇も、人の生きざまを表現したものでなければ人々は感動しない。畑さんは、阿国の生きざまを見事に表現してくれた。京都の先人たちは、日本を支えた人であり、それぞれ壮絶な人生のドラマを演じてきた。畑さんは、近く、京都にも稽古場を持つ京都にゆかりの人を主題にした踊りが生まれることを期待したい。一見小柄で、きゃしゃな畑さんだが舞台姿は大きかった。



舞踊劇「阿国かぶき」山三一嵐徳三郎文

「帰ってきた阿国」…讚

京都南座公演を観て

舞踊評論家 重里 正雄



舞踊劇「阿国かぶき」第四景北野の広場での舞台



今夏、舞踊集団・菊の会が「阿国かぶき」の作品をひっそり初初京都南座公演をもった。ヒロインが畑道代こと尾上菊乃里さんだけに私の目には「帰ってきた阿国」さんという印象が濃い。よろこぶべ

き、記念すべき印象だからである。京で生まれ、京の水で育った「阿国」さん。初代尾上菊之丞に師事し、この南座では、昭和二十一年に「鏡獅子」の胡蝶役で初舞台をふんだ。以来の、今回は南座初の自主公演だけに、感無量の思いであつたらう。「阿国かぶき」は、現代の菊の会のけい古場風景に始まる幕あき、そして阿国・山三の慶長年間へタイムスリップし「北野ややこ踊り」が賑やかに、ゆつたりと、ときに

激しく、ドラマチックに展開する……。艶技美しい阿国、セリフ、踊りなど変化球も楽しい。総じて芸人阿国の芸魂の鼓動をおぼえ、酔った。仕上がりも素晴らしい。「いまをただ、一期と踊れ」作者のつぶやき、阿国のつぶやきも聞こえた。久々に観た菊乃里さんの演技に改めて目を見はった。「いざや歌舞かん」の、感動的な終幕。今、を美しく生きる姿勢に共鳴した。いま一度、観たい欲にかられた……。

民俗芸能史を彷彿させる一大叙事詩 舞踊劇「藍の女」―阿波よ踊れ―を再演

恒例の秋の自主公演は、再演を熱望する声に応じて、三隅治雄作・演出の「藍の女」を上演します。

畑代表が演じる京都の美貌芸者お葉がふとした縁から、阿波の藍商人立花屋三造に誘われて徳島へ下る。そこで見たものは極貧と重労働に喘ぐ藍作りの人々、しかしそこで作られる藍は、美しく見事なもの。

十一月三十日(木)午後六時開演
十二月 一日(金)午後一時半開演
十二月 四日(月)午後一時半開演
十二月 五日(火)午後一時半開演

十二月 六日(水)午後一時半開演
十二月 十一日(月)午後二時開演
十二月 十三日(水)午後一時半開演



舞踊劇「藍の女」第六景盆盆流し



おこんの初恋

九月のアトリエ公演は十七日から二十二日(二十日は休)までの五日間、十ステージが盛会に開催された。初日、心配された台風も通過し、無事に開幕、連日場内は暖かい空気がつつまれました。北條秀司作、畑道代演出、振付による「おこんの初恋」をダブルキャストで行い、次いで菊の会演歌選集「四季に舞う」は祭りに始まり、津軽海峡冬景色、遣すの雨、越冬つばめ、坂本竜馬、雪国、島のブルース、北の漁場とつづき、その熱演に盛んに拍手がよせられました。又、今回のアトリエ公演は十二月二十一日から二十四日まで二時半、六時半(土・日)は一時、五時開演で、演目は序幕に狂言舞踊「茂登木」、「海はるか日本を渡る」が予定されている。

ジュネーブで開催された TELECOM 95に出演、 「獅子の舞」が各国の観客に感銘!!



「ジュネーブ便り」

ビジネスデザイン編集 プロデューサー

伊藤 正己

世界の電気通信事業者が一堂に集い、四年に一度開催される世界規模の展示イベント「テレコム95」が、十月二日より十日間にわたり開催されました。会場は、スイスのジュネーブにある大型コンベンション施設「パレエクスポ」。欧州をはじめ、北米、南米、アジア、アフリカ等世界

各国からの来場客で連日賑わいました。日本パビリオンのKDDブース内メインステージで、菊の会の主要メンバーである原聰氏、鶴岡泰重氏に出演頂き、その舞いは人種、国籍を超えて世界各国のお客様に深い感銘を与え、高い評価を頂きました。舞いのコンセプトは「人と人とのコミュニケーション」。これは畑道代先生の振り付けによるオリジナル創作舞踊で、歌舞伎の獅子の衣装を纏った、原氏、鶴岡氏ご両名の華麗なパフォーマンスはBBC(英国放送)の取材を受けるなど、マスコミ関係者に対してインパクトを与えていました。最後に、今回同行し完璧なサポートをして下さった菅原君代様と、真心のこもった協力・ケアを頂いたすべての菊の会の皆様へ改めて感謝致します。メルシーボク。

夏の名物行事 第十一回南越谷阿波踊り!!

南越谷阿波踊り振興会

会長 中内 俊三

私達の仕事は地域に根ざし、地域とともに発展していくことが絶対条件です。住む人達が、ここに永住したい、自分たちのふる

りを指導していただき、深く感謝しております。まさに私達は最初からお師匠さんに恵まれたと思っております。また、徳島から毎年四連をご招待し、本場の踊りや鳴り物を見ることができ、地元の方々も上手になってきています。

実は二十年計画で、百の連と万人の見物客がでる大きなお祭りになりたいと思っております。冬の秩父の夜祭りと、夏の南越谷阿波踊りが、人さまから、埼玉県の二大祭り、といわれるようになりたいと頑張っています。これからも畑先生を始め、菊の会の皆様の暖かいご支援、ご協力をよろしくお願致します。



九月度アトリエ公演を終えて

九月のアトリエ公演は十七日から二十二日(二十日は休)までの五日間、十ステージが盛会に開催された。初日、心配された台風も通過し、

無事に開幕、連日場内は暖かい空気がつつまれました。北條秀司作、畑道代演出、振付による「おこんの初恋」をダブルキャストで行い、次いで菊の会演歌選集「四季に舞う」は祭りに始まり、津軽海峡冬景色、遣すの雨、越冬つばめ、坂本竜馬、雪国、島のブルース、北の漁場とつづき、その熱演に盛んに拍手がよせられました。又、今回のアトリエ公演は十二月二十一日から二十四日まで二時半、六時半(土・日)は一時、五時開演で、演目は序幕に狂言舞踊「茂登木」、「海はるか日本を渡る」が予定されている。